

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名（化学名、商品名等）

LECO-DRY

レコドライ

販売者情報

会社

LECO ジャパン合同会社

住所

〒105-0014

東京都港区芝 2 丁目 13 番 4 号

住友不動産芝ビル 4 号館

担当

SDS 担当者

電話番号

(03) 6891-5800 FAX 番号 (03) 6891-5801

製造者情報

会社

LECO Corporation

住所

3000 Lakeview Avenue

St. Joseph, Michigan 49085, U.S.A.

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的有害性 : 分類対象外または区分外

健康に対する有害性 : 分類対象外または区分外

環境に対する有害性 : 分類対象外または区分外

3. 組成、成分情報

物質の特定

単一製品・混合物の区別

: 単一製品

化学名

: ソーダ灰融剤焼成珪藻土

成分および含有量(wt%)

: 100

化学式又は構造式

: SiO_2

官報公示整理番号 化審法

: 対象外

安衛法

: 対象外

PRTR 法

: 対象外

CAS No.

: 68855-54-9

国連分類及び国連番号

: 該当しない。

4. 応急措置

吸入した場合	: 新鮮な空気のある場所に移動させる。症状が長引く場合は医師を呼ぶ。
皮膚に付いた場合	: 大量の水で 15 分以上洗う。炎症があれば医師の診断を受ける。
眼に入った場合	: 大量の水で洗う。症状が長引く場合は医師を呼ぶ。
飲み込んだ場合	: 無理に吐かせない。症状がひどい時は医師の診断を受ける。
主な症状	: 入手不可

5. 火災時の措置

消火剤	周辺火災に応じた消火剤を用いる。
使ってはならない消火剤	入手不可
火災時の特有の危険有害性	火災時に有害なガスが発生することがある。
消火を行う者の保護	火災時には自給式呼吸器と全身の保護衣を着用。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	関係者以外を退避させる。十分に換気すること。ダストを吸引しない。適切な保護具を着用すること。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	清掃の際にダストが発生しないようにする。適切な廃棄容器に漏出物を掻き入れる、または掃除機で吸い取る。
環境に対する注意事項	環境への放出を防ぐ

7. 取扱い及び保管上の注意

安全取扱注意事項	ダストの発生、堆積を抑える。適切に換気する。ダストが発生するところには排気を行う。決して粉塵を吸わない。眼、皮膚、服との接触を避ける。産業衛生に配慮する。長期の暴露は避ける。
安全な保管条件	冷乾燥場所に密閉して保管する

8. 暴露防止措置

US. OSHA TableZ-1 Limits for Air contaminants (29 CFR 1910.1000)

成分	タイプ	値
ソーダ灰融剤焼成珪藻土 (CAS 68855-54-9)	TWA	0.8mg/m ³
		20mppcf

US.NIOSH : Pocket Guide to Chemical Hazards

成分	タイプ	値
ソーダ灰融剤焼成珪藻土 (CAS 68855-54-9)	TWA	6mg/m3

生物学的限界値	生物学的暴露限界値は設定されていない。
設備対策	十分な換気を行う。本製品を使用する場合洗眼シャワーと緊急シャワーを準備する。
保護具	
眼/顔の保護	サイドシールド付き保護メガネまたはゴーグル。
皮膚の保護	
手	適切な耐薬品グローブを着用する。
その他	適切な保護衣を着用する。
呼吸器の保護	ダストが許容濃度を超える恐れがある場合、認証済みの呼吸器を使用する。
熱的危険	入手不可。
一般的な衛生事項	取扱後、飲食喫煙の前の手洗いなど衛生に気を配る。仕事着、保護具類は定期的に洗濯、清掃する。

9. 物理/化学的性質

外観	
物質の状態	固体
形状	粉末
色	白
臭い	無臭
臭気限界	入手不可
pH	10
融点・凝固点	入手不可
沸点、初留点と沸騰範囲	入手不可
引火点	入手不可
蒸発率	入手不可
燃焼性(固体、ガス)	入手不可
燃焼または爆発範囲	入手不可
燃焼範囲-下限(%)	入手不可
燃焼範囲-上限(%)	入手不可
爆発下限界(%)	入手不可
爆発上限界(%)	入手不可
蒸気圧	入手不可

蒸気密度	入手不可
相対密度	入手不可
溶解度	入手不可
n オクタノール/水分配係数	入手不可
自然発火温度(発火点)	入手不可
分解温度	入手不可
粘度	入手不可
その他の情報	

分子式 SiO₂
 分子量 60.09 g/mol

10. 危険性情報

反応性	入手不可
化学的安定度	通常の状態に安定。
危険有害反応可能性	有害な重合は起こらない。
避けるべき条件	可燃性物質との接触。湿気。
混触危険物質	強酸化剤 強酸
有害な分解生成物	酸化ケイ素

11. 有害性情報

起こりうる暴露についての情報

吸入	ダストを吸入すると呼吸器の刺激を起こすことがある。長期間の吸入は有害である。
皮膚	ダストや粉末が皮膚を刺激するおそれがある。
眼	ダストが眼を刺激するおそれがある。
飲み込んだ場合	有害であるおそれがある。
物理的、化学的、有害性特性に関連した症状	ダストは気道、皮膚、目に刺激を起こすおそれがある。

毒物学的影響

急性毒性

成分	種	結果
ソーダ灰融剤焼成珪藻土	(CAS68855-54-9)	
急性経口LD50	マウス ラット	>15000 mg/kg >22500 mg/kg

*製品への評価にはデータとして記載されていない成分が含まれている場合があります。

皮膚の腐食/刺激	長期の接触は一時的に刺激するおそれがある
重篤な眼の損傷/眼刺激	直接目に入ると刺激を起こすおそれがある。

呼吸器または皮膚感作性	
呼吸器感作性	入手不可
皮膚感作性	入手不可
生殖細胞変異原性	入手不可
発がん性	
IARC Monographs. Overall Evaluation of Carcinogenicity	ソーダ灰融剤焼成珪藻土 (CAS68855-54-9) 3 ヒトに対する発がん性について分類できない
OSHA 特定規制物質 (29CFR 1910.1001-1050)	記載なし
生殖毒性	入手不可
特定標的臓器毒性 (単回暴露)	分類されていない。
特定標的臓器毒性 (反復暴露)	分類されていない。
吸引性呼吸器有害性	入手不可
慢性影響	長期的に吸入すると有害であるおそれ

12. 環境影響情報

環境有害性	本製品は環境に対して有害と分類されていないが、大量のまたは繰り返しの漏えいが環境に悪影響を与えないとするものではない。
残留性/分解性	知られていない。
生態蓄積性	データなし
土壌中の移動性	データなし
その他の有害影響	この製品による環境への悪影響 (例えばオゾン層破壊、光化学オゾン生成可能性、内分泌かく乱、地球温暖化の可能性) は考えられていない。

13. 廃棄上の注意

廃棄手順	内容物/容器の廃棄は地域/国/国際的規制に従い行う。
残余廃棄物/未使用製品	入手不可
汚染容器	入手不可

14. 輸送上の注意

本製品は DOT, IATA, IMDG において危険品として規制されていない。

15. 適用法令

該当なし

16.その他の情報

参考文献 本製品の英文 SDS(03/18/2015) : LECO Corporation
製品安全データシートの作成指針 : 日本化学工業協会
実用化学辞典 : 朝倉書店
労働安全衛生法 MSDS 対象物質全データ : 化学工業日報社
化学物質管理促進法 PRTR・MSDS 対象物質全データ : 化学工業日報社
化学物質総合情報検索システム : NITE

作成 : 平成 13 年 10 月 30 日

改定 : 平成 22 年 3 月 4 日 (法令見直し)

平成 23 年 7 月 11 日 (住所変更)

平成 24 年 6 月 22 日 (法令見直し)

平成 28 年 12 月 19 日 (書式・法令見直し)

* 記載内容は、現時点で入手できた資料、情報、データ等に基づいて作成しておりますが、必ずしも万全なものではなく、含有量、物理化学的性質等の数値は保証値ではありません。製品の取扱いには十分に注意してください。

尚、新たな情報を入手した場合は、追加又は訂正することがあります。